

科目名	地学基礎	単位数	2	必修選択	必修
教科書	高等学校 地学基礎(第一学習社)				
副教材	セミナー地学基礎(第一学習社) スクエア最新図説地学(第一学習社)				

教科・科目の内容

私たちの暮らしている地球は、最近の科学や技術の進歩により、今まで知ることができなかった地球内部や深海・高層大気の構造などが次々と明らかになってきています。しかし、まだまだ謎が多い！地震の発生のメカニズムや地球温暖化等、地球の謎を論理的に探っていく学問が「地学」です。

「地学基礎」では、宇宙の誕生から太陽系、地球の成り立ちおよび地球の地層や地質について学び、地球誕生からの歴史を見ていきます。これらを柱に、地球の大気や海流、地球環境について探っていきます。この地学基礎を学ぶことで、壮大な宇宙や地球の歴史を知り、地球の未来や自然環境を考えることの楽しさを感じて欲しいと思います。

日常生活や将来とのつながり

地学の発展に伴って、私たちの日常生活は安全・安心な暮らしを送ってきています。みなさんが住んでいる家や道路、電気を供給している発電所などの建設には地盤の情報が必要です。また、日頃お世話になっている気象情報などは大気や海流の循環の情報が必要不可欠です。「地学基礎」を学ぶことで、このような地球全体のしくみを解明するヒントとなり、災害防止につながります。将来、人類が地球で安全、安心に暮らしていくためには、地学の発展は不可欠です。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

1. **予習**は、教科書に目を通しておく程度でかまいません。もし、気になるものがあつたら**参考書やインターネットなどで調べる**と、より深く理解することに繋がります。
2. 地学の学習では**授業が最も重要です。説明をよく聞き、板書はもちろん、口頭説明でも重要と思われることは全てノートに取りましょう。**
3. また、**復習**も大切です。授業のあったその日のうちに、授業内容を教科書とノートを見ながらまとめ、書き忘れたことや追加事項があれば記入して**授業ノートを完成**させよう。

到達目標 【学習指導要領】

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(行動観察・実験レポート・ノート点検)

日常生活や社会との関連を図りながら自然や自然現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

② 思考・判断・表現(行動観察・実験レポート・ノート点検・定期試験)

自然や自然現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。

③ 技能(実験レポート)

自然や自然現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

④ 知識・理解(小テスト・定期試験)

自然や自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	地学基礎	2	地学基礎 (第一学習社)	セミナー地学基礎(第一学習社) スクエア最新図説地学(第一学習社)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一 学 期	第1章 宇宙における地球 第1節 宇宙の構成 第2節 太陽 第3節 太陽系の中の地球	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙の始まりを学習し、ビッグバンや宇宙の晴れ上がりについて理解する。 太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。 地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。 	○	○	○	○
	※ 中間試験・ノート点検		○	○		○
	第2章 活動する地球 第1節 地球の姿 第2節 火山活動と地震	<ul style="list-style-type: none"> プレートとプレートの動き、トランスフォーム断層、プレートテクトニクスについて理解する。 火山の形と噴火の様式について学習する。 火成岩は、産状によって鉱物の形や組織が異なることを理解する。 地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。 	○	○		○
	※ 期末試験・ノート点検		○	○		○
二 学 期	第3章 移り変わる地球 第1節 地層や岩石と地質構造	<ul style="list-style-type: none"> 河川の働きと地層の形成について学習する。 堆積岩の形成、堆積岩の種類について学習する。 断層の形式と褶曲、整合と不整合について学習する。 化石のつき方および示相化石と示準化石を学習する。 相対年代と絶対年代について学習し、地質年代表について理解する。 	○	○	○	○
	※ 中間試験・ノート点検		○	○		○
	第3章 移り変わる地球 第2節 地球環境と生物界の変遷 第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支 第2節 大気と海洋の運動	<ul style="list-style-type: none"> 先カンブリア時代から新生代第四紀までの地球環境の変化と生物界の変遷について学習する。 大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習し、大気中の水、雲の発生について理解する。 	○	○		○
	※ 期末試験・ノート点検		○	○		○
三 学 期	第4章 大気と海洋 第2節 大気と海洋の運動	<ul style="list-style-type: none"> 風がおこるしくみ、大気の大循環について理解する。 海水の組成と温度について学習し、海洋の層構造を理解する。 				
	第5章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球の温暖化、オゾン層の破壊について学習する。 気団や季節風、日本の天気の特徴を理解する。 	○	○	○	○
	※ 学年末試験・ノート点検		○	○		○

備考	
----	--